

## 最近のブラジルの格付けと為替動向について

大和証券投資信託委託株式会社

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。

このたびの東北地方太平洋沖地震・長野県北部を震源とする地震により被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

金融市場の状況について、現時点で確認できる範囲でご案内いたします。

### <格付けについて>

格付会社のフィッチ・レーティングス社(以下、フィッチ)は、4月4日(現地)、ブラジルの自国通貨建て・外貨建ての発行体デフォルト格付けを、「BBB-」から「BBB」に格上げしました。見通しは「安定的」としています。

今回の格上げの理由として、フィッチは、「持続可能なブラジル経済の潜在成長率が4~5%へ上昇したことが、中期的な財政見通しを改善させ、また外貨準備高の増加などがもたらす対外流動性の強固さを下支える」と評価しています。また、「ルセフ新政権への移行はスムーズに行われており、マクロ経済政策への対応も着実である。さらに、ブラジル政府債務の削減へとつながるような、財政規律健全化の姿勢がみられている」ことも理由としてコメントしています。ブラジル政府は、2011年度予算における500億レアル規模の歳出削減策の発表や、最低賃金の上昇幅を緩やかにとどめたことなど財政改善策を示しており、これらの対策が格上げの一因として挙げられています。なお、ムーディーズ・インベスターズ・サービス社(ムーディーズ)の自国通貨建て、外貨建て格付けがともに「Baa3」、スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P)は自国通貨建てが「BBB+」、外貨建てが「BBB-」と各社とも投資適格級格付けとなっています。

各格付会社のブラジル長期債格付け(4月5日現在)

	自国通貨建て	外貨建て
フィッチ	BBB	BBB
ムーディーズ	Baa3	Baa3
S&P	BBB+	BBB-

(出所)大和投資信託

■当資料は、大和証券投資信託委託株式会社により作成されたものであり、投資判断の参考となる情報提供を目的としており勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。したがって投資元本が保証されているものではありません。■特定ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。販売会社についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

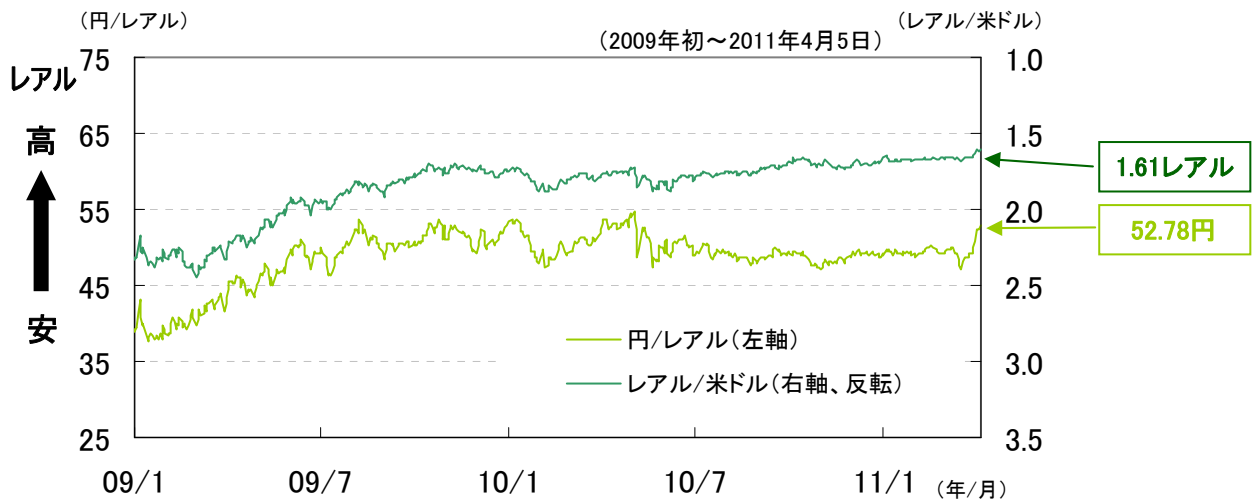
## <最近のブラジル・レアルの動向について>

ブラジル・レアルの対円レートは、ここも上昇傾向にあります。レアル上昇の背景としては、3月下旬に発表された自国通貨高対策が、市場の事前想定範囲内で穏やかな措置であったこと、また、インフレ抑制のために当局がある程度の自国通貨高を容認しているのではとの観測などが考えられます。加えて、3月にG7による協調為替介入が行われたことや米国経済の回復期待などから、対米ドルで円安が進んだこともレアル上昇の要因となりました。

今回のフィッチの格上げに対して、マンテガ財務大臣は「外貨のさらなる流入が促進される可能性がある」とコメントし、過度の米ドル流入を抑制するための手段を引き続き講じていくとの意向を示しました。ブラジルでは、自国通貨高対策として、税制改正、為替介入手段の多様化、市中銀行の為替ポジション(米ドル売り持ち高)の抑制など様々な手段を使ってレアルの急激な上昇を抑えようとする姿勢がみられてきました。しかし足元では、ブラジル国内での事業展開や石油などの資源開発投資を目的とした海外からの直接投資が増加しており、レアル高への圧力の一因となっています。

今後も当局による対米ドルでの通貨高対策への懸念がありますが、中長期的には、2014年サッカー・ワールドカップ、2016年夏季オリンピックといった国際的なイベントを控えている上、インフラ投資や資源開発投資への期待も高く、好調なブラジル経済を背景にブラジル・レアルの底堅い推移が見込まれます。

## ブラジル・レアルの推移



(出所)ブルームバーグ

以上

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会